

# 2020～2021年度 小倉中央ロータリークラブ週報



ロータリーは機会の扉を開く

例会日 月曜日 12:30～13:30  
例会場 リーガロイヤルホテル小倉  
事務所 小倉北区堺町1-2-16-3F  
TEL 093-531-4015  
FAX 093-531-1022

## 第1回 オンライン例会

1月18日(月) 12:30～13:00  
配信：ロータリー事務局より

会長の時間（1月18日 オンライン例会記録）

光應会長

### 「新型コロナとこれから」

明けましておめでとうございます。皆さん良いお正月を迎えられたでしょうか。お正月なのであまり難しく暗い話題はさげたいところですが、やはりどうしても新型コロナを無視することはできませんね。

年が明けてワクチンも徐々に出来、少しずつですが解決の糸口が見えてきたようにも思いますが、去年から言われていましたようにコロナ以前の社会にいつか戻るのではなく「ウィズコロナ」コロナとうまく付き合う社会の模索が今年も求められるのでしょうか。マスクを常に付け、手洗い消毒をして密を避ける。面倒ですが、すっかり日常になりつつあり「まあしかたないか」とあきらめております。

このあきらめるという行為は、実は仏教ではとても大切なことで、明らかにすると書いて「明らかに」と言います。真実を明らかにすることによって正しくありのままに受け止め、どうすべきか考え行動する。以外に難しい事でもあります。

日本赤十字社は「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！負のスパイラルを断ち切るために」と題して感染症の恐ろしさを警告しております。まず第一の感染症は「病気そのもの」です。そして、第二の感染症は「不安と恐れ」です。さらに、第三の感染症は「嫌悪・偏見・差別」です。ウイルスという見えない敵への不安を解消しようと、例えばマスクをしていない人や咳をしている人や配慮が感じられない人を嫌悪し、偏見や差別し、遠ざける事でつかの間の安心を得ようとする。また差別を恐れて症状が出て受診をためらい、結果として病気の拡散を招いてしまう。この3つの感染症は実に厄介に負のスパイラルを起こしてしまうのです。いまこそ、この状況を「明らかにみる」事が明るい一年の要ではないかと思えます。新型コロナは全人類が直面している誠に厄介な感染症ではありますが、人類の歴史では度々疫病に悩まされ、何とか乗り越えてきております。運如上人の時代にも疫病にてたくさんの方が亡くなられている中「人間は病にかかったから死ぬのではない。生まれてきたから死ぬのだ。いまさら驚くことではない。生きて死ぬ、その命を今生かされている。」とおっしゃったそうです。

新年早々に難しい話をしてしまいましたが、大変な一年が過ぎ、なんとかまだ生かされている事を喜び合いながら、今年も様々なご縁を糧として成長しあってゆければと思います。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

### ■幹事報告 ～羽地幹事～

- ・あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。
- ・緊急事態宣言が発出されましたので2月1日(月)までは、例会を休会とします。2月8日(月)につきましては、オンライン例会を考えていますが、今後の状況を見て、判断してお知らせいたします。皆様も十分に注意してお過ごしください。
- ・25日に予定しておりましたクラブ協議会「上半期活動報告および下半期活動計画」は、冊子にして後日配布いたします。

### 1月のお誕生日

4日 豊川 裕子会員  
9日 林田 法恵会員  
14日 狩野 博司会員

### オンライン例会参加者

光應知廣会長 羽地良一幹事 長戸 操会員 浅海輝二会員  
大西千里会員 梶原謙吾会員 狩野博司会員 河野一郎会員  
巫部祐彦会員 北垣友和会員 白石晴美会員 鍋島律子会員  
芳賀元生会員 林田法恵会員 原田 緑会員 細川忠広会員  
森本浩文会員 湯口義博会員 渡邊典子会員 以上19名